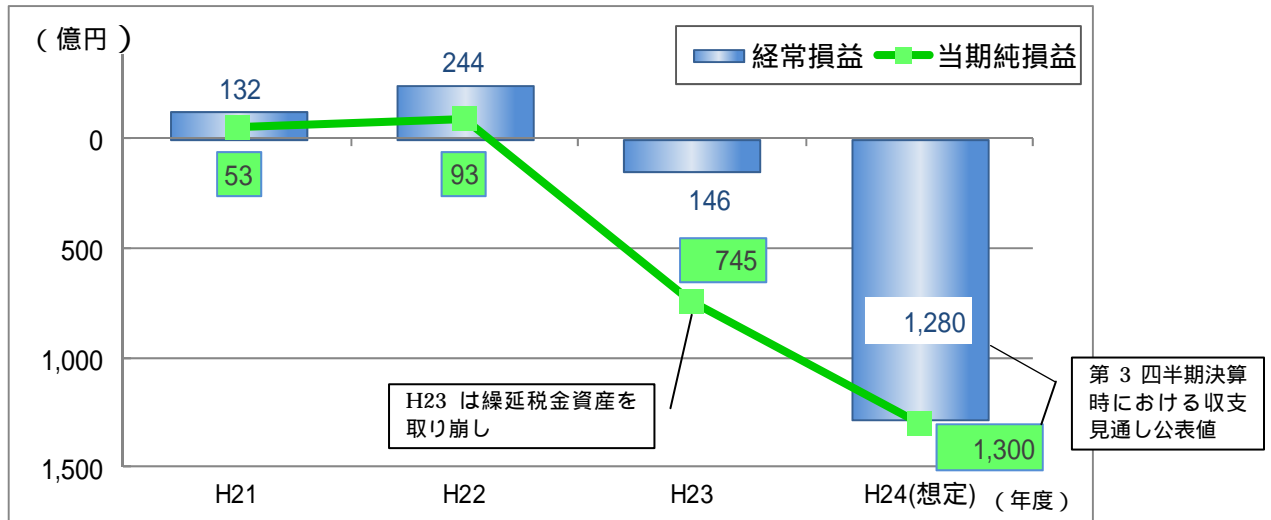


当社の経営状況について

1. 経常損益、当期純損益の推移（単独）

- 平成 24 年度につきましては、石炭火力の稼働を高めることや修繕費・諸経費の削減など、経営全般にわたり徹底した効率化にグループ一丸となって取り組んでおりますが、泊発電所の長期停止による燃料費の増加などから、経常損益は 1,280 億円程度、当期純損益は 1,300 億円程度と、いずれも過去最大の損失となる見通しです。

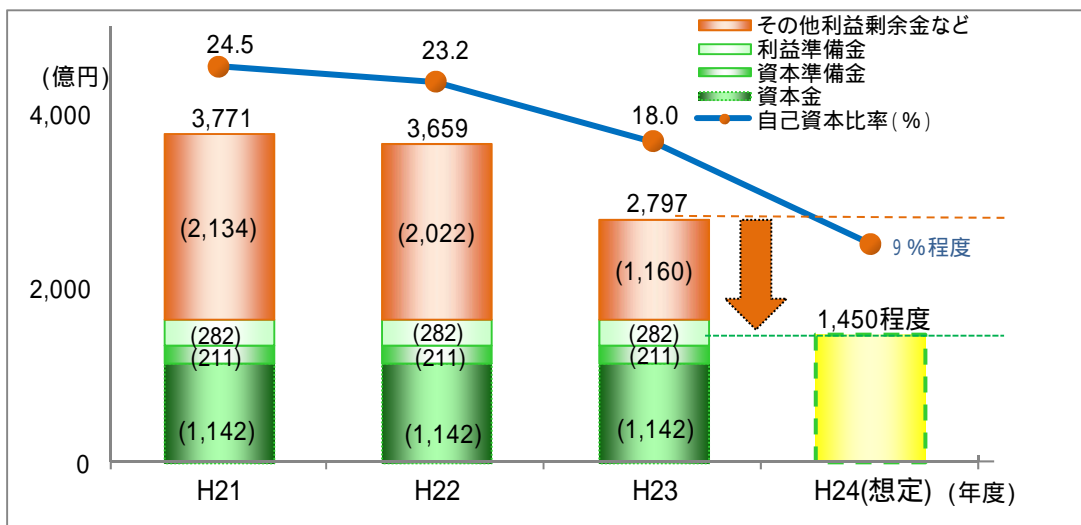


（注）億円未満は切り捨て表示しています。

2. 純資産残高および自己資本比率の推移（単独）

- 上記の業績予想を前提とした場合、平成 24 年度末の純資産残高は 1,450 億円程度まで減少します。

自己資本比率は 9%程度まで低下し、さらに泊発電所の停止が続いた場合、財務基盤のさらなる悪化が見込まれます。



（注）億円未満は切り捨て表示しています。

以上